

玉川に住む2頭のイルカ

泳ぐ姿はスマートで愛らしく、見ている者を幸せな気持ちにさせるイルカ。その魅力は美しい流線型のボディです。かわいく愛らしいだけではありません。イルカは最高時速60 kmで泳げるとも言われています。曲線を活かしたしなやかでスマートなスイミングスタイルで、素早く美しく泳ぎ、時には水深150 mまで潜って餌をとるなど、野生動物としての能力にも優れています。

玉川の「ドルフィン」、「ホワイトドルフィン」は、その名の通りイルカによく似た美しい流線型をしています。最高時速90 kmでサーキットを滑走する姿は、まさに人々の視線を釘付けにしながら大海原を自由に泳ぎ回るイルカそのものです。

イルカは水の抵抗を少なくするため、玉川の2頭のイルカは空気抵抗を押さえるために、このような流線型をしています。

玉川に住む2頭の兄弟イルカはみんなに大切に育てられ、仲良くオーストラリアのレースに向けて調整を行っています。



写真：小笠原ダイビングセンター H.Pより